



北報 にわかぜん

発行 富山県入善町役場
印刷 株式会社東光印刷

No.143

昭和44年1月20日発行

除雪に協力を……

大みそから降り続いた雪のため、作業所が倒壊するなど各地で被害が続出しましたが、町では道路網確保のために土木出張所と協力し、建設業者の応援をあおいでブルドーザー、グレーダーをフル運転し、建設課員を総動員して除雪につとめました。しかし、なんといってもみなさんの協力がなくては除雪計画もうまく進みません。今後大雪のおそれがありますので、屋根の雪おろしの後始末を必ずすること、道路上に自動車などを放置しないようにご協力をお願いします。

今月のよみ

- 1日 元旦 新年名刺交換会
- 2日 初 初 荷
- 4日 仕事はじめ
- 5日 小 寒
- 6日 消防出ぞめ式
- 7日 七 卓
- 11日 鏡 開き
- 15日 成人の日
- 16日 やぶ入り
- 20日 人 寒

人 口	28,527
(男 13,409 女 15,118)	
世 帯 数	6,512
1月1日 住民登録数	

町政功勞者 五氏を表彰

11月25日 明治百年記念式典



▼自治功勞
米沢政虎氏 入膳 製材業
昭和二十六年四月、旧入善町議會議員に当選以来、実に十七年五か月の長きにわたり、町議會議員として町自治の発展に尽くされ、入善町今日の隆盛に寄与された。

▼婦人会活動功勞
谷 雪枝氏
古黒部 会社役員
入善町連合婦人会長として地域に密着した婦人会活動を展開し、栄養知識の

町では十一月二十五日、役場議場で明治百年記念式典を行ない、町発展のために功績のあった五氏を町政功勞者として表彰しました。表彰されたのは次のみなさんです。

▼保健衛生功勞
川瀬健友氏 東狐 医師
大正八年、京都帝大医学部を卒業、現住所で医業をひらき、以来半世紀の長きにわたり地区民の健康確保に貢献するとともに、

に、相扶共済の精神に則り、国民健康保健の運営ならびに発展に寄与された。

▼土地改良功勞
水原數之氏 五郎八 農業
昭和三十四年四月平曾川沿岸土地改良区理事長に就任、以来土地基盤の基幹である幹線用排水路の改修を完成、昭和三十七年第一次農業構造改善事業としてほ場整備事業に着手し、すでに三百三十二ヘクタールを完成、入善町今日のほ場整備事業の促進の原動力となった。

普及徹底を目的とした栄養教室の開設、結核予防のための結核予防婦人会を設立するなど、婦人会活動を通して地域社会発展に寄与された。

▼産業功勞
龜田定次郎氏 横山 漁業
昭和初年より終戦時まで根室を根拠地としてハママイ局周辺の漁場においてコンブ、ホタテ貝の採取漁業を営み、終戦後は子弟を中部、北洋、日本海のサケマス漁場に出漁せしめ、自らは横山漁業協同組合長として沿岸漁業の振興につとめるなど、本町漁業の発展に寄与された。



福祉町政を

入善町長 米沢甚吾

昭和四十四年の新春を迎えましておめでとうございます。昨年中は殊のほかご厄介に相成り厚くお礼申し上げます。なお本年も、昨年に倍してご指導ご援助をお願いいたします。

世界の状況を見まするに、ベトナムにおける南北の熱い戦争は小康状態を保っていることは、本当に喜びに堪えませんが、しかしながら、なおイスラエルを中心とした中近東

諸国における問題は決して樂觀を許さないものがあり、一方経済面ではフランスのフラン、イギリスのポンド、ドイツのマルク、アメリカのドル等不安が感ぜられるのであります。このように暗い面をのこしている反面アメリカが一昨年ソ連が大きな成果をあげた金星ロケット四号についてアポロ八号の打ち上げに成功し、正に宇宙時代への第一歩を踏み出したといった明るい面も持つて迎えた年でありました。今年はさらに米ソ相競って宇宙開拓に大きな足跡をのこすことと思われます。

一方わが日本においては、経済及び生産は格段の進展を見て消費ムードの盛んなことは正に昭和元祿を謳歌しているかの觀を呈していますが、その反面大学紛争問題はいつ解決されるともはかり知れない状態であり、社会の大きな問題となつております。さらに今年には沖繩の復帰問題や、日華問題の解決を迫ら

れており、国際的にも重大な課題を持った年でもあります。わが富山県におきましては、富山高岡新産業都市建設の一端として、昨年四月富山新港が開港され、これにより富山県の将来は大きな飛躍が期待されるものと思われます。

わが入善町においては、国の経済生産の発展及び県の発展に併行して善処しているものであります。昨年は農業において、実に三十万七千俵という大量の米が出荷されるかつてない大増産を見たのであります。これもひとえに農民の皆様の努力によるもので幾重にも感謝申し上げます。

今年度も昨年より増産に努めることを念願し、期待いたします。

今年度も余すところ三か月、昭和四十四年の予算の編成にとりかかつておりますが、新年度は次の四つのことを柱としておこないたいと考えております。

その第一は、福祉問題を考慮に入れて公費予防に全力を尽したるい所存であります。その第二番目は、交通安全の問題を解決するためあらゆる手段をつくして努力したいと考えております。特に道路の維持修繕、孤獨改良及び舗装を致し、住民の利便をはかりたい所存であります。つきにその三番目は立派な人づくりを推し進めるため、学校教育、社会教育に力を注ぎたい所存であります。

最後に産業の開発に一層努力をいたしたいと存じております。特にウマイ米づくりを目的とした農業パイロット地区の指定を受けるため、最善の努力をいたしたいと思っておりますので皆さんのご指導ご援助を切にお願ひ申し上げます。

町民各位のご健康とご健勝をお祈りしまして新年のあいさつといたします。

42年度決算を認定

12月町議会

教育委員に若島氏

特別会計補正予算

昭和四十二年度決算などを審議する入善町議会定例会が十二月二十四日召集されました。おもな内容は次のとおり。

▽昭和四十二年度入善町歳入歳出決算認定の件

一般会計決算、国民健康保険特別会計決算ほか三特別会計決算が認定されました。

(内容は次ページに掲載)

▽昭和四十三年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額六億七千八百九十九万八千円にそれぞれ一千四百四十五万三千円を追加し、総額を六億二千二百三十五万五千円としました。

追加されたおもなものは、歳入では町税の一千二百万円などですが、歳出では、人動に伴う職員の給料のほか、交通安全対策費五十六万円、ロードローラーの購入および修繕料二十三万円、道路新設のための物件移動補償料三十万円、小型動力ポンプ購入費三十万円、小摺戸小学校給水工事費三十三万円などがあります。

▽昭和四十三年度国民健康保険

特別会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ十二万四千円を追加し、総額を一億九千二百六十二万四千円としました。

▽昭和四十三年度公団分収造林特別会計補正予算

十四万円を追加し、歳入歳出の総額を百三十一万一千円としました。

▽教育委員会委員の任命

十一月十四日辞職された柳沢周造前委員の後任として若島助右衛門氏(福島)を任命。

採択された

請願と陳情

▽ほ場整備完成に伴う大型トラクター導入について

▽消防自動車の配備について

入善町消防団舟見分団

▽ほ場整備完成に伴う大型トラクター導入について

舟見農協

▽ほ場整備完成に伴う大型トラクター導入について

小摺戸農協

▽潤山小学校施設の一部改築ならびに昇降口(非常)の位置変更について

潤山小学校交母と教師の会

▽し尿及び手数料(委託料)の適正化について

富山県清浄業者料金適正化運動決起大会実行委員会

▽昭和四十四年度市町村中学校教育関係予算について

富山県中学校長会

▽学校保健振興について

富山県学校保健会

ご寄附 感謝します

▽水銀灯一基 小路清義(小摺戸) ▽教材備品購入費二十四万円 黒東中PTA 花びん立塚久二雄(吉崎) ▽新日本経済地図ほか十冊 籠畑良明(東京) ▽地球儀 池原要次郎(岐阜県) ▽金三万七千円 横山小PTA 飯野小備品(テレビほか) 尾木忠義 滝本重次 飛鳥重作 水原数之 水原広次 滝本清吉 飯作力松 野坂善一 小竹久子 塚田幸子 竹田幸一 高山三郎 島田竹次 飯田シナ 石川昭男 嶋田久之 竹島儀松 立塚由松 五十島利博 元田弘 井田清吉 井田コヨス 島田興 南保 勉 高見莊作 島先良 消防備品購入費三十万円 青木地区

農業基本調査

二月一日現在で農業基本調査が行なわれます。ことしから抽出による調査になりましたので、該当地区の方は調査員がまいります。ご協力をお願いいたします。

▽調査集落と調査員氏名

▽島 渡辺松次・小摺戸二区 小林恵・小摺戸九区 松岡文雄・西島三郎 稲場政治・神子沢 川田正一・蛇沢 滝本正義・道古 尾木忠義・道市 吉島吉雄・寺田中孝治・俊男・東町第二 田中孝治・藤原 吉原権一 潤山東部 池原俊雄・舟見 区 山本外 輝雄・野中 大蔵せき・吉林 小林友吉 (十五名)

体談談募集

・千字以内、本文のほか最近の記帳内容がわかる簡単な表をそえること
・しめきり 二月二十八日
・入選発表 六月中旬
・送り先 富山市堀町通 日本銀行富山事務所内 富山県貯蓄推進委員会

おわび

係の都合により、広報にゆうせん十二月号が欠号になりました。おわびいたします。

町民の声を 町政に

入善町議会議長

野島正一

新年あけましておめでとございます。明治改元百一年を迎えた本年こそ、計画性に富んだ進歩的な一年にしたいものです。

終戦後日本は平和と幸福を軸とした世界に例のない戦争放棄を世界に宣言し、日本再

建に全国民が、けつ然と立ち上り、いまや工業生産高は世界第三位という目覚ましい発展を遂げ、国民生活も著しく改善されたのであります。

これは、政治の力もさることながら、日本人の国民性もたらしたものであると自負するものですが、手放して喜んでおれないと思います。政治の貧困から起因する幾多の諸問題があることを常に忘れてはならないと思えます。

一方入善町に於ては、東洋紡を始めとし、新和工業並びに機械工業センター等が着々その内

容も充実し、明るい希望がもてるものと信じます。又、ほ場整備事業も事業量においては全国一といわれ、今や全町完全実施をめざして着々その実をあげていることは、農業を基幹産業とする入善町において最も頼もしい限りといわねばなりません。

しかしながら、今後やらねばならぬ事業として学校統廃合、役場庁舎、黒部川流域変更問題、交通、公害、道路問題等、数々の重要問題が山積しており、限られた入善町の財政において、いかにしてこれをおし進めてゆくべきか、今後の重要な課題で

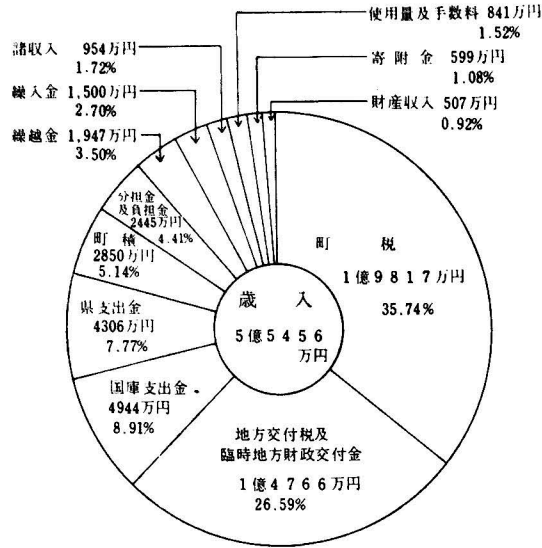


あると思えます。町民の福祉を代表するわれわれ議会人として白らの姿勢を正し、つねに町民の声を町政に反映させ、住みよい町づくりに微力を捧げる所存であります。

おわりにのぞみ、町民各位の健康とご多幸を祈念して年頭のあいさつといたします。

産業振興に重点

一般会計 2,450万円を繰り越す



昭和四十二年度は、第一に産業基礎の確立と振興対策の推進、第二に社会福祉の充実と社会生活環境の浄化、第三に学校教育、社会教育の振興、第四に土木事業および土地改良事業の推進、の四項目を基本方針として、町発展のために諸行政が進められてきたわけですが、各部門についての成果、決算額などを示すと次のようになります。

七千万円の増 前年比

一般会計では、前年に比較してみると、歳入は約七千万円も大幅にふえて五億五千四百五十五万九千九百七十七円。歳出も約六千六百万円ふえて五億三千五万六千六百四十九円というかつてない大型になりました。

差し引き繰越額は二千四百五十万三千二百六十八円で、この中には四十一年度からの繰り越しが約一千九百万円（内、繰越明許額百八十万円）ありましたので、実質的には約六百八十万

七千万円の増 前年比

円の単年度黒字ということになります。

この内容を前年に比べてみると、歳入では、米の大豊作による所得増を反映して町税収入、地方交付税がそれぞれ約三千万円も大幅に伸びたのをはじめ、国庫支出金、県支出金などが町債、繰越金、財産収入、使用料が減額となっています。

歳出では、農業構造改善に力を入れた結果、農林水産業費が約二千五百万円増額になったほか、議会費、総務費、民生費、衛生費、商工費、消防費、公債が増額になり、一方、教育費、土木費、労働費、災害復旧費が減額となっています。

苦しい国保会計

特別会計事業の決算額は別表のとおりですが、国民健康保険特別会計では、歳入総額は前年より約二千七百万円ふえて一億五千七百三十四万五千八百四十九円。歳出は約二千九百万円ふえて一億五千六百八十二万九千九百八十八円となり、差し引き五十二万三千九百三十一円の繰り越しとなっています。しかし、この中には前年度からの繰り越しが約二百万円ありますので、実質的には単年度で約七十万円赤字となります。

この歳出のほとんどが保険給付費で、加入者のみさんが受けられた療養給付費は約一億三

決算特別委員会メンバー

委員長 中易 清
副委員長 岩場 正三
委員 車 憲一 福沢忠命
委員 立塚清作 亀田盛開

昭和四十二年年度の決算がまとまりました。この決算は、九月町議会定例会で設置された決算特別委員会（中易清委員長）で慎重に審査されたあと、十二月の町議会定例会で認定を受けたものですが、その内容を簡単に紹介しましょう。

○ 決算額のうちわけ

	歳入(円)	歳出(円)	差引残額(円)	
一般会計	554,559,917	530,056,649	24,503,268	
特別会計	国民健康保険事業	157,345,849	156,821,918	523,931
	簡易水道事業	1,884,002	1,344,448	539,554
	公団分収造林事業	1,063,095	1,063,095	0
	工場誘致事業	23,628,005	23,559,909	68,096
総合計	738,480,868	712,846,019	25,634,849	

○ 町税収入のうちわけ

区分	決算額(円)
町民税	78,568,963
個人分	5,462,094
法人分	75,492,830
固定資産税	5,750,950
軽自動車税	18,886,500
町たばこ消費税	13,991,135
電気ガス税	23,000
木材取引税	198,175,472

このように、医療費の高騰とあいまって国保会計はますますふくれあがるのが予想され、運営に四苦八苦の状態です。医療費がかさめば、それに応じた保険料の増額もやむをえない措置ですので、できるだけ住民検査を受け、病気の早期発見、早期治療に心がけ、国保事業をみんなのものとして育てていっていただきたいものです。

町の台所報告

四十二年決算から

着々すすむ農業構造改善

人づくり 社会福祉に力を

結核予防町の名声

民生

児童福祉のために、老朽した東光保育所を一千万円で移転新築し、四十二年十二月十五日から開所しました。また、未設置の野中地区では、地元の強い要望により、七十二万円を投じて野中公民館階下を改装、四十三年四月から開所されました。これで町立保育所は十三か所、全地区に設置されたわけです。

衛生関係では、一連の成人病対策として、検診車による胃の集団検診や母子健康センターを会場にしての婦人検診を実施、成果をあげました。

結核予防については、延五十四会場を設けて住民結核検診を実施しました。とくに、検診の推進役である衛生協力委員（連綿役員百三十四名）を中心に、入善町結核予防婦人会を結成し、内外に結核予防町としての名声をあげております。

失業対策 一千三百二十七万円を投入して道路整備、ゴミ収集に力を注ぎました。道路の新設工事は、高畑一上諏訪線二百一び、西入善停車場線二百四十七び、改良工事は青島一神林線九十四び、舗装工事は南町線など八路線、延長二千九十六びとなっています。

土地改良に 一千万円を補助

第二次構造改善事業は、新屋地区が基幹作目に米、花卉球根を選定して、昭和四十二年度から三か年

水産

五十平方びを舗装し、失業対策事業と連けいをはかって道路整備を進め、交通事故の防止に努めました。

芦崎地先の海岸保八年度以来継続事業として四十二年度まで三百十七びが竣工済でしたが、四十二年度は八百四十万円を投じて百七びを施工しました。

漁港建設は七百円で施工延長は十八びとなっています。

また、沿岸漁業振興のために九十六万円を浅海投石事業を実施し、テングサ、ワカメなどの増殖をはかりました。

教育 「健全な青少年の育成、教育条件の整備充実」を重点施策として、学校教育、社会教育それぞれの領域において最大の効果をあげるよう積極的に努力しました。

学校教育は、ひとりひとりの能力の開発伸長をはかり、豊かな道徳的情操をつちかい、調和のとれた人間形成を推し進めるために、小学校十校、中学校四校の教材の整備、教育研究活動の推進、施設設備の強化に努めました。小学校費は約二千三百万円となっています。

また、青年学級、婦人学級の育成など、社会教育にも力を注ぎ、成果をあげております。

道路整備に 三千六百万円

土地改良区を主体とするほ場整備、かんがい排水事業にも積極的に協力し、町費一千四十五万円を助成して事業の達成に努めました。

土木

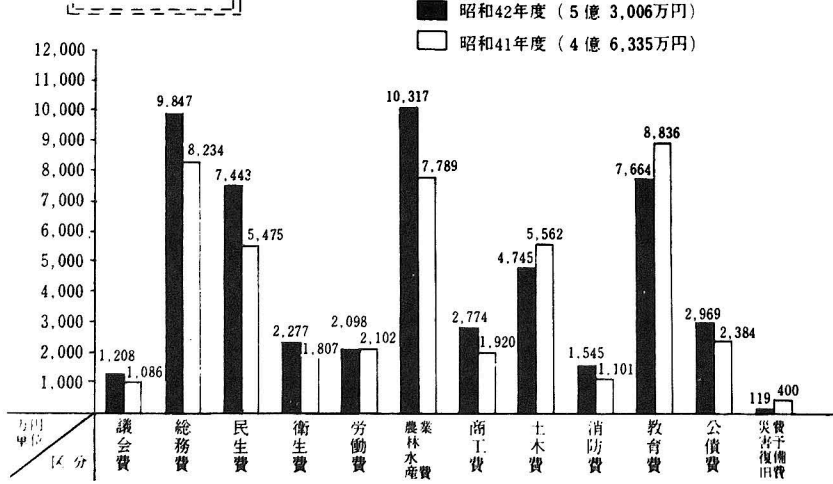
交通量の激増に伴って道路のいたみがひどく、その維持修繕のために六百六十万円を投じ、常時七人の土木工手を配置して補修に努めました。

また、新設改良工事は、国庫補助を受けた上原縦断線三百五十五び、県費補助の東狐五郎八線二百七十七びのほか、町単改良事業として二千四百五十万円を投入し、十一路線、延長一千五百十びを新設改良、二千五百

農業

第二次構造改善事業は、新屋地区が基幹作目に米、花卉球根を選定して、昭和四十二年度から三か年

歳出



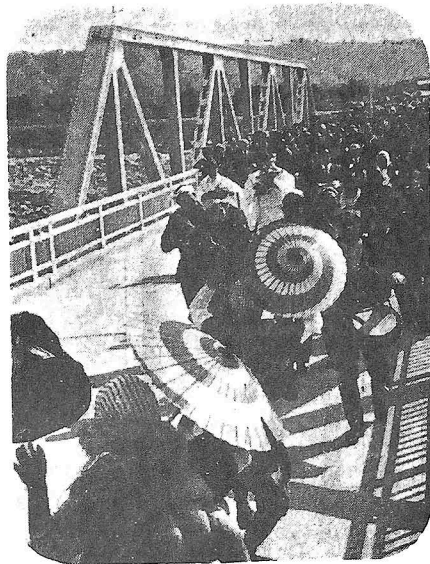
権蔵橋が完成

1968年の話題から

- [1月]
 - ・町議会臨時会で杉原収入役を再任
 - ・上原分団に新鋭消防車配置
 - ・横山公民館藤原分館落成
 - ・集団カゼはやる
 - ・朝日発電＝地下水調査はじまる
黒部市と合同で県へ抗議行動
- [2月]
 - ・朝日発電をめぐる水騒動
- [3月]
 - ・町議会定例会で43年度予算を審議
(一般会計予算＝5億6390万円)
 - ・小林副知事らを招き、黒部川流域総合開発計画説明会をひらく
 - ・農協機械センター落成
- [4月]
 - ・入善町農業センター完成(1500万円)
 - ・野中保育所を開設
 - ・優良健康家庭、優良納税者を町表彰
- [5月]
 - ・権蔵橋完成
 - ・善行児童、健康優良乳幼児を町表彰
 - ・入善町教育センター発足
- [6月]
 - ・三波春夫招き「花の入善音頭」の発表会ひらく
 - ・体操祭第12回入善大会 2500人参加
 - ・若栗新公民館新築落成
- [7月]
 - ・交通反則金制度実施

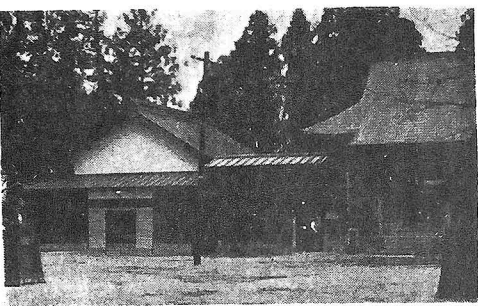
✓黒部川流域総合開発説明会
3月26日、小林副知事、小浜総合計画部長らを招いて説明会をひらきました

↓権蔵橋完成
5月1日、吉田知事を招いて竣工式を行ない、シシ舞を先頭に渡り初め



✓明治天皇御小休所完成
12月14日、明治天皇入善御小休所と米沢紋三郎翁愛用茶室の移転改築が落成しました

↓芦崎保育所を建設
竣工式は
44年11月16日



←駅前郵便局落成
駅前郵便局(竹内道夫局長)が落成し、11月20日から開局



→地下水調査に抗議行動
1月22日、県の抜きうち調査に対して黒部市と共に県へ抗議陳情を行ない、田中土木部長の説明を聞く



(7) 広報にゆうせん

・参議選(地方区)

投票総数	17,005
有効投票	16,865
無効投票	140
投票率	88.71%
ユノキ 栄 吉	13,591票
佐竹 周一	241票
杉原 一雄	2,912票
寺崎 新一郎	121票

・町議会議長に野島正一議員、副議長に松田幸与作議員を選ぶ

・明治天皇御小休所など移転起工〔8月〕

・新屋農協にライスセンター完成(工費 4,665万円)

〔9月〕

・県知事選 ・ 県議補選
吉田 実 13,117 柚木春雄 7,573
平田 貢 2,378 長谷友一 8,384

・町議会決算特別委員会(中易清委員長)を設置。教育委員に泉、奥田両氏を再任

〔10月〕

・急行「越後」1日から停車
・県営舟見野地区ほ場整備事業起工(5か年計画 事業費7億4,300万円)
・グレーダーを購入し、道路補修、除雪に備える

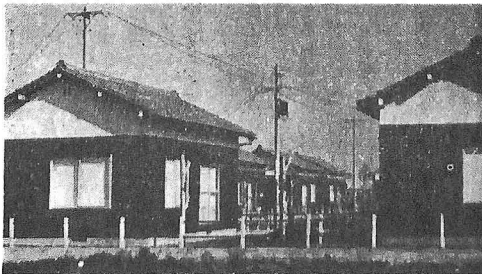
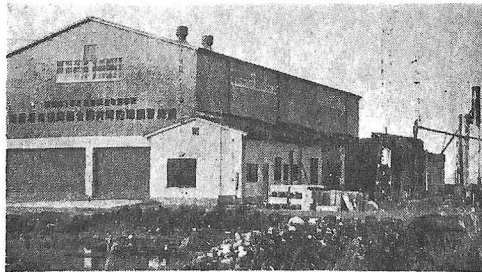
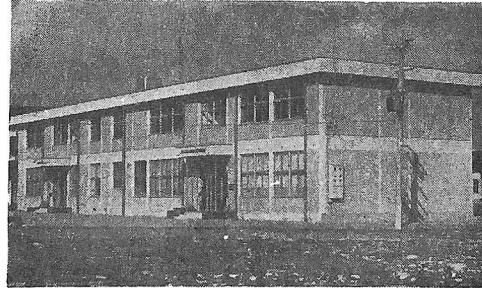
〔11月〕

・社会福祉功労者などを表彰
・明治百年記念式典を挙行
・町政功労者5名を表彰
・駅前郵便局開局
・各地で町政懇談会ひらく
・戸崎保育所上棟式

〔12月〕

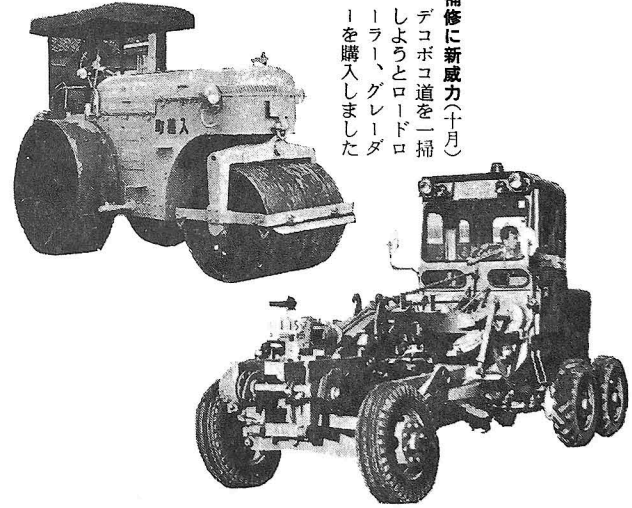
・町営上野住宅20戸増築
・町議会 41年度決算を認定
・明治天皇人形御小休所移転改築落成
・門山農協事務所落成

(写真上) 入善町農業センター
(写真中) 新屋農協
ライスセンター
(写真下) 町営住宅上野団地



道路補修に新威力(十月)

デコボコ道を一扫しようとしてロードローラー、グレーダーを購入しました



↓ 農業構造改善事業すすむ(11月)

稲の取り入れ終了とともに舟見、飯野、新屋、小摺戸など各地で大規模なほ場整備が進められています



五十円アップ

□□国民年金の保険料

国民年金の保険料が、この一月分から三十五歳未満の方は月二百五十円に、三十五歳以上の方は月三百円にと、それぞれ五十円引き上げられます。

これは国民の生活水準や経済の変動に歩調を合わせるため、五年ごとに法を改正することになっており、それが四十一年の法改正によって四十二年一月から年金額が二・五倍に引き上げられ、夫婦で一万円の年金が実現されました。

こうして年金額が引き上げられると当然、保険料もこれに応じた引き上げが必要となるわけです。

しかし、一度に過重な負担をかけるため、四十二年一月と四十四年一月の二回にわけて引き上げたわけです。

更された保険料で納めることになり、誤って変更前の保険料を納めたり、納め忘れのないように注意しましょう。

どうしても、この保険料を納めることができない事情があるときは、保険料免除制度もありますので、役場国民年金係でその手続きなどについておたずねください。

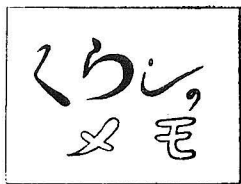
一月中に申告を

源泉所得税の還付希望者

昭和四十三年分申告所得税の確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までですが、給与、配当、外交員報酬等で、四十三年に源泉徴収された税金が納めすぎとなった方で、確定申

告書を提出して源泉所得税の還付を受けようとする人は、できるだけ一月中に申告書を提出するようにして下さい。

一月の納税
・第四期分 町県民税
・第四期分 保険税
納期までに忘れず完納いたしましょう



親しい仲間にも……
親しい友だち同士の会話などで、軽い気持ちでからかったり、やりこめたりする場面がよくあります。

人間は、他人が認めてほしいこと、言ってもらいたくないこと、二つを持っていきます。ですから、どんな親しい間柄でも、言われたくないことをとりあげてからかわれることはおもしろくないのが本心です。

言ってほしくないことを、たとえ冗談にせよ口に出して相手の自尊心をきずつけることはいまいちなくてはなりません。こうしたことは、外ではもちろんのこと、家庭内でもしばしば失敗のもとになります。

髪を大切に……
髪の毛はそのときどきからの栄養状態、健康状態を鋭敏に示します。

すから、髪の毛を美しくするためにはふだんの健康が大切です。睡眠不足やたん白質の不足などが続くと、髪の毛が細くなったり、もろくな

ったりすることはよく知られています。
こんぶはヨードを含むからよいといわれますが、髪の毛はたん白質なので、やはりたん白質をとることでしょう。なかでも硫黄分の多いたん白質である卵の黄味などはとくによいようです。とにかくフランスのとれた食事をとることが第一でしょう。

また、直射日光にしか何時間もあつたり、ほこりのついたままにしておくことは髪をいためるもです。
■高血圧の方には寒さが大敵です。とくに急に冷たい空気にふれることは薬物。夜中に便所におきるときは、必ず、はんでんなどを着せてあげましょう。

■やけどしたら、油をすくぬるのが常識とされていますがむしろ、すぐ水でひやすことが先決です。
■肌あれをふせぐには化粧品より食事の方がたいせつ。脂肪分をたっぷりとり、ネギ、キャベツ、ホウレン草、ニンジンなどをたくさんいただきます。



発しんの種類判別

一口医学

ヒフに赤い点々やまだら水ぶくれなどができたりする変化を総称して発しんといいます。

発しんの種類判別には、専門医でさえもまどることがありしろうとが簡単にみわけることがむずかしいのですが、医師にみてもらうまでのごく一般的なみわけ方を申ししましょう。

へしか(一〜三日)
あった熱が一度下がってふたたび発熱するときに発しんができる。発しんは平べったいピンクのポツポツで、まず耳のうしろやひたいにでき、し

だい(全身にひろがる。へん(三日はしか)ピンクのアワ粒より少し大きめの発しんが全身にびっしり現われる。はしかに似ているが、大きさも小さく、色もうすい。熱もあまり高くない。

へしよう(こう熱)鮮紅色の発しんが全身にできるが、口のまわりだけは現われぬ。舌は赤くイチゴのよう。

へ水とう(水ぼうそう)はじめは赤いハン点ができ、だんだん大きくなって、やがて水ぼうそうになり、一〜三日でかわいて黒いかさぶたをつくる。



あたたかいご芳志を
感謝いたします
入善町善意銀行
(10月21日~12月31日)

変わっていく

日本人の食生活

●NHKの「食生活と米」の調査から……

戦後、日本人の食生活ははたに変わってきていると言われている。NHK世論調査で去年十月行なった「食生活と米」という調査結果からその一端をご紹介します。

○米と主食……食とも米を主食にしている人は六三%に達し、米を二食主食としている人は二七%となつています。そして、食とも米食とするのは、農家で九〇%、農家以外で五三%と大きな差があります。

○米を食べる理由……長い間の習慣となつて五五%、満腹感がある一九%、おいしい、経済的がそれぞれ九%となつています。

○米を食べる量はふえたか……変わらぬ四六%、やや減つた、非常に減つたが合わせて四六%で全体として米の使用量はむしろ減つています。

○米の減つた理由……他の食品で

る六五%、変わらない三二%、悪くなった四%となつており、よくなったが農家以外では六・四%と農家の食生活がかなり向上していることがわかります。

○食生活の向上……朝、昼、夜は七〇%、朝、昼、夜は六四%、夜は四六%と、朝、昼、夜の順に副食に重点をおく人が多くなつており、主食の方が量が多い人が四六%と、主食にかなり重点を置いており、その主食はほとんど米となつています。

○食事の内容の向上……(一)三年の間に内容がよくなつてい

生徒募集

入善高等技能学校

●科 目
○機械・板金・溶接
○募集人員 各十名
○訓練期間 一年
○特典

失業保険受給者は継続支給されるうえ、一日につき百六十五円の受講手当、さらに板金科では月二千円の受講奨励金がもらえます。

また、失業保険受給資格のない人でも、三十五歳以上であれば、一日につき約七百円の訓練手当が支給されます。

●電話線の配管を忘れずに
建物の新築や増改築の際、電話線の配管がしてないため、せっかくの建物にキズがついたり、室内の配線が見苦しくなります。電灯の配線や水道の配管と同様に電話線の配管も忘れずに施工しましょう。
(入善電報電話局)

入膳	池田 アヤ	1,000円	歳末たすけあい金
〃	米沢 綾枝	1,000円	〃
〃	上原 すみ	1,300円	〃
〃	東狐 長田 一郎	4,000円	〃
〃	吉原 中田 秋子	635円	〃
〃	青木 岩田 澄子	502円	〃
〃	下上野 金沢久義	280円	〃
〃	小杉 上野 元長	1,500円	〃
〃	新和 工業労組	4,077円	〃
計	40件	163,324円	

物品の部	内 容
入膳 佐田 正義	醤油 60本
入膳 高校生 徒会	ノート 30冊
入膳 弱原 光雄	ランドセル 8個
入膳 荒又 青木 良三	ふ と ん 1枚
入膳 米沢 良吉	リンゴ(大) 1箱
〃 上原 すみ	ヤクルト 20本
〃 米沢 綾枝	シヨートケーキ 30個
〃 扇谷 幸吉	みかん(大) 1箱
〃 道市 福島ヨシエ	〃(大) 1箱
黒東 仏教布教会	浴用石鹸(6個人) 8箱
計	10件

● 共同募金、秋季募金

ありがとうございました
入善町社会福祉協議会
(昭和43年12月5日)

共同募金	678,555円
身体障害者資金	58,750円
社会事業資金	235,000円
歳末たすけあい資金	205,625円
計	1,177,930円

● 昭和43年度募金総額

2,391,500円
(日赤ほか春季募金 1,213,570円)
(共同募金秋季募金 1,177,930円)

現金の部	内 容
入膳 田中 栄松	20,000円 長女敏子 の供養とし 社会事業資 金
入膳 養照寺住職 門徒 一同	5,000円 歳末お米 一にぎり運動 会
桐山 仏教婦人会	1,000円 歳末たす けあい金
吉原 上原 武男	1,000円 〃(1円 玉にて)
入膳 山本 正勝	10,000円 社会事業 資金
吉原 西尾 三郎	15,000円 亡くした 父の供養 事業資金
呉紡 入善支部	20,899円 歳末たす けあい金
入善 高校生徒会	11,288円 〃
入膳 柚木マツ子	10,000円 〃
入膳 10区 児童クラブ	1,500円 〃
入膳 ジュエール 11区 従業員一同	3,000円 〃
入善町 観音寺 お茶の会	5,000円 〃
入善町 連合婦人会	10,000円 〃
桐山 新 ザ・シムラーズ	1,500円 〃
上地区 青年団	965円 〃
小摺戸地区 青年団	1,029円 〃
飯野校下 青年団	3,000円 〃
入善町 連合青年団	3,000円 〃
八 ブルーサウンズ 幡 ザ・シムラーズ	4,000円 〃
上地区 民生委員会	5,000円 〃
黒東 中学生徒会	4,506円 〃
小摺戸 小学生徒会	2,105円 〃
入膳 舟川 正広	100円 〃
〃 杉原 正恵	250円 〃
町内 匿名	100円 〃
入善 高校匿名(女)	400円 〃
青木 森下ハツエ	693円 〃
上野 村田 朝子	1,000円 〃
入膳 米沢 良吉	4,000円 〃
上田 上田 初男	2,000円 〃
入膳 米沢のびる	2,000円 〃

おめでとう
おめでとう
おめでとう

おめでた (出生)

住所	保護者	続柄	名前
芦崎	井田和夫	長女	いずみ
五郎八	石原富男	長男	茂樹
青島	大角旭男	長女	晴美
上野	広瀬要吉	2女	真由美
入野	竹内博	長女	俊美
浦山新	鬼原隆志	2女	美幸
新屋	米山博晃	長男	博樹
新屋	小林留夫	長男	匠
上野	浜西靖男	長女	京子
木根	橋本義男	長男	喜志
入野	清水敏己	長女	清美
入野	舟本繁市	長女	清紀
下飯野	新米島博	長女	文子
塞ノ木	中山準	長女	和美
今江	西嶋勇	2男	功
桐山	池原久夫	長女	結美
横山	佐藤勝助	長男	剛
入野	水口昭吾	長女	智美
八幡	紺田保子	長女	美保子
野中	大割己則	2男	克之
道古	古島先典	長男	徹
入野	上田淳一	長男	智
上野	松田彦晴	長女	小百合
五郎八	石原勝夫	長男	一成
入野	膳田辺慶夫	長男	裕一
小摺戸	杉本喜一代	長男	博喜
上飯野	新橋本忠代	長男	淳喜
入野	五十里勝一	2女	順子
入野	浅倉仙吉	3男	卓也
上野	青地戦勝	長男	久志
上野	村上輝夫	2女	めぐみ
桐山	長島捷郎	長男	克己
目川	林勇	長男	勇一
下飯野	新中島義明	長女	美智代
入野	石田征男	2女	純子

おくやみ (死亡)

住所	氏名	年令	世帯主
浦山新	鬼原 幸夫	28	長世帯主
入野	稲毛金次郎	74	三郎
下山	鍋嶋 澄子	78	啓一
青木	上田石次郎	74	本人
小摺戸	小路清太郎	70	清義
新屋	新田 よし	92	要次郎
入野	白島 賢一	20	タマエ
入野	田中 敏子	30	義和
入野	田中トシ子	39	栄松
目川	杉沢みつえ	44	由雄
神林	米原 春夫	23	松次郎
新屋	盛田 二之	65	本人
君島	室 ため	77	要次郎
浦山新	吉澤 さや	62	久雄
入野	中上 計子	42	善弘
浦山新	尾山 さと	79	久一
入野	尾山 チョ	66	三郎

入野	上田加次	長男	直樹
青木	今井幸晴	2女	幸代
舟崎	西尾君治	長女	忍
芦崎	岡元豊次	長男	博人
春日山	鍋島広志	長女	明美
新屋	寺崎忠男	2女	直美
横山	富谷友二	長男	政広
青島	大角孝夫	長男	智昭
西中	舟本政男	長男	博司
入野	青木一男	長男	一幸
下飯野	小杉友吉	2男	学
高島	塚田直治	長女	めぐみ
横山	林松芳	2女	里香
下飯野	塚田甚作	長男	和守
上野	松原慶治	2男	剛
入野	上田栄進	長男	秀明
入野	高橋昌男	長女	良美
入野	金物良明	長男	昌和
門見	秋田増男	長男	孝志
舟見	長原 嘸	長女	広美
今江	上野輝郎	長男	貴宏
青木	笹原照磨	長女	浩美



笹原 児童クラブに表彰

↓表彰旗を手に県庁前で記念撮影

11月2日、笹原児童クラブが優良児童クラブとして富山県表彰を受けました。同クラブは、園山キャンプ場の清掃などの社会奉仕活動や、交通安全運動に率先して参加するなど、他の範となる活動ぶりが認められたものです。

2月10日まで受付

申請書用紙は民生課および各保育所にあります。

人権法律相談

日常生活であなたの権利がおかされていませんか。悩みをお持ちの方は遠慮なくおいでください。

・日時 2月10日 午後1時～3時

・場所 入善町中央公民館

目川	西野字之次郎	79	富雄
上野	板川小次郎	81	本人
新屋	寺林 めぐみ	71	孝盛
青木	中林 志な	70	信雄
木根	澤田 ふて	81	武男
入野	上田 きよ	87	光一
入野	占谷きくい	71	本人
入野	米原 かよ	84	松次郎
神林	青木 光松	68	本人
桐山	竹松 広作	80	本人